

## 令和4年度 行政評価の実施結果

### 1. 行政評価の目的

千曲市では、「①評価結果の公表による行政運営の透明性、信頼性の向上」「②経営感覚・コスト意識の醸成や事務事業の見直し・改善等による行政資源（職員、事業費、施設）の効果的で適正な配分」「③総合計画の進行管理と実施計画・予算への反映」「④職員の意識改革による地方分権への的確な対応」を目的に、平成19年度から実施しています。

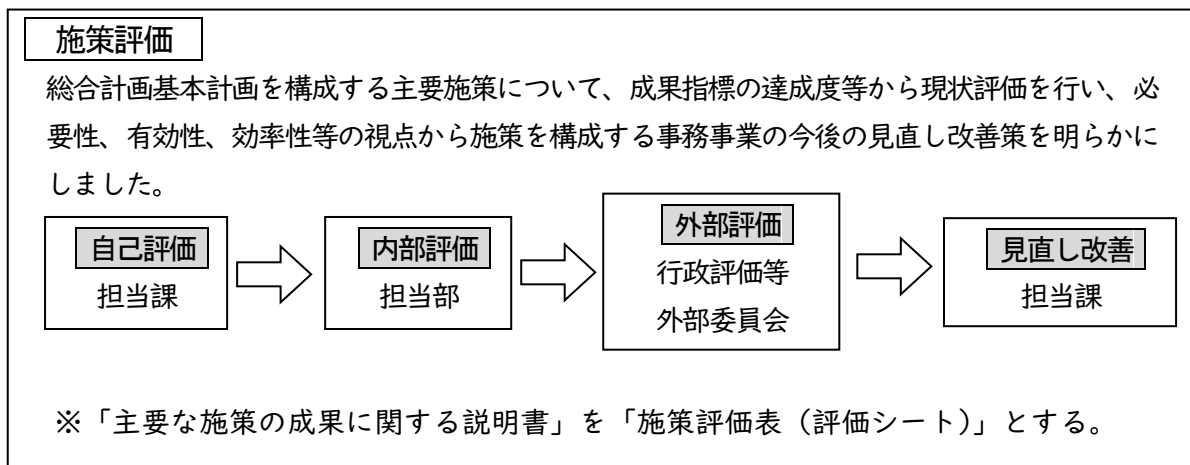
第二次千曲市総合計画に基づく行政評価を実施するにあたり、これまで外部評価委員のご意見や監査委員のご指摘を踏まえ、施策の成果や課題、改善点を明らかにした簡潔でわかりやすい評価方法へと見直しを行い、PDCAサイクルでいう「C（評価）」と「A（改善）」の部分の改善を図りました。このPDCAサイクルを適切に回すことにより、予算や行政資源の最適化を図っていきます。

### 2. 評価対象（施策評価対象事業は「主要な施策の成果に関する説明書」記載事業）

施策評価は、第二次千曲市総合計画「前期基本計画」を踏まえて決定した「平成3年度施政方針」の中から、重点施策に掲げた8施策30事業と主要施策に掲げた22施策33事業、計30施策63事業を対象としました。

政策評価は、第二次千曲市総合計画の基本構想に掲げた基本目標6項目を評価の対象としました。

### 3. 評価手順

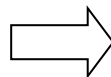


## 政策評価

施策評価と成果指標を踏まえ、行政評価等外部委員会にて総合計画基本構想の基本目標を単位に政策の進捗状況を明らかにしました。その結果を受けて、部長会議で評価を確定（「総合評価」）しました。

### 行政評価等外部委員会

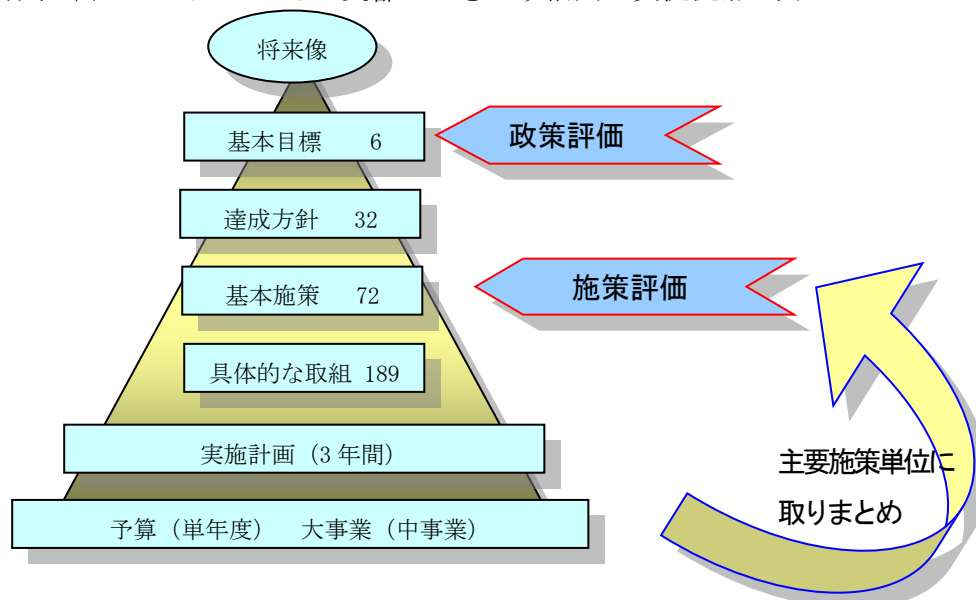
- ・ 基本目標ごとの「成果指標」
- ・ 総合戦略「KPI」
- ・ 外部評価の結果
- ・ 市民意識調査 など



部長会議  
総合評価

## 千曲市総合計画・基本計画体系

《 科<sup>しな</sup>野<sup>の</sup>の国 さらしな はにしな 史<sup>し</sup>都<sup>と</sup>がにぎわう信州の交流拠点 千曲 》



## 4. 施策評価

### (1) 自己評価

基本計画の主要施策について、各担当課で施策評価表（主要な施策の成果に関する説明書）を用いた自己評価を行いました。

また、『成果指標』と『重要業績評価指標（KPI）』の達成状況から現状の評価を行い、事業の「必要性」「有効性」「効率性」などの観点から課題を総括し、今後の改善策を明らかにしました。

### (2) 内部評価

担当部で自己評価を検証し、施策の進捗状況や課題などを踏まえ、期待と成果の観点から現状評価を行い、特筆すべき成果や課題、今後の改善点・方向性などについて総括しました。

### (3)外部評価（「別紙 1」のとおり）

評価の客観性をより高めるため、行政評価等外部委員会において内部評価を検証しました。委員が選定した 8 事業について、施策の進捗状況や課題等から現状評価を行い、課題や今後の改善点・方向性等についての委員の意見を取りまとめました。

## 5. 政策評価

### (1)外部評価（「別紙 2」のとおり）

行政評価等外部委員会において、施策評価や成果指標などを踏まえ、第二次千曲市総合計画「基本構想」に掲げた基本目標ごとの進捗状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。

### (2)総合評価

外部評価を踏まえて、部長会議において政策に対する現状評価を決定し、政策の進捗状況を確定しました。

## 6. 総合評価（令和 5 年 2 月 1 日部長会議）

○総合計画においては、前年に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、行動制限やイベント自粛など感染拡大防止策に関連する分野において、達成率が低調に留まった。一方で、同状況下においても前年から回復傾向を見せた分野もあったほか、全体平均では過去最高の達成率となったことから、「比較的順調」であるといえる。

計画期間最終年の令和 3 年度において、目標を達成したのは 38 指標、目標達成に至らずも計画策定時の平成 29 年度から数値が上昇したのは 28 指標となったことから、一定の成果があったといえる。一方、達成率が伸び悩んでいる指標も多くあることから、行政評価等外部委員会の意見を踏まえ、それらの改善が今後の課題となる。

○総合戦略においても前年に続き新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響がしたが、全目標において前年を上回る回復を見せており、全体的に高い水準を達成することが出来たと総括する。一方で、目標別に見ると基本目標 3 が 6 割を超える水準にとどまったほか、個別分野に関しては進捗状況に差が目立つ結果となったことから、より一層の改善を要する。

○総合計画の達成率及び総合戦略の進捗率ともに、コロナ禍においても堅調に成果を挙げたといえる。今後は、ウィズコロナ・アフターコロナによる市民・事業者の意識や活動の変化も踏まえながら、工夫して事業を展開する。

○総合計画及び総合戦略は今年度から第三次総合計画において統合され、一体的に事業を推し進めている。今後も各事業において P D C A サイクルを常に意識し、評価・改善を継続して行うとともに、市民感覚、民間感覚を大切に、スピード感をもって事業を遂行する。

## 7. 行政評価の活用

### (1) P D C A サイクルの確立

P(計画) D(実行) C(評価) A(改善)サイクルを確立し、明らかになった事務事業の課題や見直し改善策の着実な実施に努めます。

### (2) 評価結果の公表

行政運営に対する透明性、信頼性を高めるため、庁舎窓口やホームページなどを通じて広く評価結果を公表します。